



毎月十五日発行 社会 宗像 大像 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 結婚式場用品 株式会社 井筒 福岡店 電話 博多区東公園二一三二(一) 三三二(二) 三三三(三) 三三四(四) 三三五(五) 本店 京都市下京区油小路六条北入(一) 電話 三三四(一) 三三四(二) 三三四(三) 三三四(四) 三三四(五) 電話 京都(三) 三三四(一) 三三四(二) 三三四(三) 三三四(四) 三三四(五)

# 秋季大祭迫る!

## 「神郡宗像」郡民待望の秋祭り



「神郡宗像」の民が待ち続ける、当大社最大の祭典、秋季大会がいよいよ目の前に迫ってきた。

宗像地方に秋を告げるこの大祭は、「田島放生会」とも称され、今から七百年前の鎌倉初期に、時の大宮司宗像氏経が始めたといえられている。

大祭は、十月一日午前九時半の、古代宗像海人族の往時の姿を彷彿させる海上神幸「みあれ祭」で幕を開け、三日まで国家・皇室の安泰と弥栄、五穀豊穡、大漁満足を感謝して盛大に斎行される。

Table with festival schedule: 十月一日(水) 午後五時 総社地主祭 宵宮祭; 十月二日(金) 午前八時 中津宮出御祭 辺津宮出御祭 大島港出港(みあれ祭) 神楽港到着 頓宮祭(雨天中止) 頓宮御登壇(陸上神幸) 辺津宮入御祭 (主基地方風俗舞); 十月三日(土) 午前十一時 総社祭(浦安舞) 高宮祭 第二宮祭 宗像護国神社秋季大祭 献茶祭 (南坊流・瀬口宗芳社中); 午後二時 末社祭

昭和四十年、三池工が優勝して以来、深紅の大優勝旗は、実に二十七年ぶり、関門海峡を越え福岡県代表西短大付属高校の上に輝いた。平成四年夏の甲子園大会のことである。

今やリトルリーグや、小学生の頃から硬式野球を扱う子供が多く、また野球部員数の増加等、高校野球の栄のかけにひそむ問題点が浮き彫りされる。昨今、優勝投手森尾は地元八女で育まれ、中学校では軟式野球の部活に励む等、いづれも親しみのもてる球児であった。甲子園の大舞台、最後の一球をまなこにこみあげてくる焦りと緊張感に直面し、度々叫びを飛ばし外し、度々深呼吸する森尾投手の姿が、テレビを通じてひしひしとこちら側に伝わってきた。

「今までは、一生懸命やっただけ、なかなか報われなかったけど、こまで頑張ってきたけど、本当に良かった。今日は本当に嬉しかった。大事な一日になりました。」試合後のコメントである。「何事も辛抱」と色紙に向かう元プロ野球福本選手の姿を思い出した。もう一つ、早稲田番ストラップにも大きな反響を呼び話題になった。全国に波紋を呼んだ明徳義塾の五連連続優勝は、あまりにも勝利にこだわったという意見と、ルールに違反しているという意見が相対立した。確かに明徳は規則に犯してはなかったが、ルールの解釈でなく、「野球の心」の問題を提起した敬遠策といえそうである。

## 地球サミットに思う

本紙に蘭田稔秩父神社宮司(京都大学教授)の報告が掲載されたので、関連してブラジルのリオデジャネイロで開催された国連環境開発会議(地球サミット)の後を追ってみよう。

六月三日から十四日までの会期中、世界から約七十か国と多くの国際機関が参加し、国家首脳の参加も百人を超える大会で、日本から中村環境庁長官が首脳代表として参加した(宮沢総理はP.K.O法案審議のため欠席し、演説のペーパーを配布)。

会議の種別は全体会議と具体的作業を行う主要委員会のみ、世界の首脳が参加した首脳会議、政府間会議と、これに併せてNGO(非政府組織)によるグローバルフォーラムや、環境保護団体、産業団体などの会議や展示会が催され、環境と開発に関する一大イベントとなった。

今回の地球サミットの特徴は一九七二年「昭和十七」の「かけがえのない地球」をキャッチフレーズとした国連人間環境会議に重点がおかれた国連人間環境会議の

二十周年にあたり、先進国と発展途上国が環境をテーマに開発、国際協力のあり方を討議した南北サミットとも言えよう。

会議の成果をまとめれば「環境と開発に関するリオ宣言」及びその行動計画「アジェンダ21」の採択、地球の温暖化防止を目的とする「気候変動枠組条約」、絶滅の危機にある生物種、生態系の保護、遺伝資源の利用についての「生物多様性条約」、開発途上国の森林

地球サミットに先がけて本年四月、東京で開かれた地球環境賢人会議(竹下元総理がホスト)として世界の賢人三十余名出席の昼食会での、梅原猛国際日本文化研究センター所長によるスピーチは傾聴に値するものであった。

氏によると、世界最初の環境破壊者はメソポタミア地方に最初の都市国家を作ったシュメール王ギルガメッシュで、彼は森の神ギルガメッシュを殺すことにより、

て、森を伐採し破壊する自由を獲得して古代文明を築いた。第二の環境破壊者はヨーロッパの近代科学文明で、デカルトは「我思故我在あり」として、

「神は神を故に我あり」として、人間が半人、人間を生み出した父であり母である自然を征服して富を得た。今人間はギルガメッシュとデカルトの思想を批判し、自然の生きとし生けるものと共存することしか生きられない

## 秋季大祭日程

Table with festival schedule: 九月三十日(水) 午後五時 総社地主祭 宵宮祭; 十月一日(木) 午前八時三十分 中津宮出御祭 辺津宮出御祭 大島港出港(みあれ祭) 神楽港到着 頓宮祭(雨天中止) 頓宮御登壇(陸上神幸) 辺津宮入御祭 (主基地方風俗舞); 十月二日(金) 午前八時 流鏝馬神事 例大祭(氏子奉幣・翁舞 末社祭); 十月三日(土) 午前十一時 総社祭(浦安舞) 高宮祭 第二宮祭 宗像護国神社秋季大祭 献茶祭 (南坊流・瀬口宗芳社中); 午後二時 末社祭

## 宗像大社歌会詠草

第三五回 中村 吾郎 選 毎月末日、切 福岡東 清原 綱代 大木なすす竹桃の枝垂れ咲き 流るる白の西日に光る 原 町 八波 五月 何となくの住む都市の子 報聞き明日も晴かと一人うなすく 自由ヶ丘 細川 綱子 紫の桔梗の花に黒揚羽とまらんとして花揺らしをり 名古屋 小田 留子 シルバーの席ゆずられて面映ゆしまだいたわらるる 齢にはあらず 名古屋 小田 喜一 暮れ果てて振り向く空に音もなく遠き火花の開きくずる 須 惠 馬場 ヤヲ 改築をなしたる厨庭作る 心爽やかに料理作る 自由ヶ丘 津江富美子 心よ朝の冷気の散歩道向ふ山々霧にかすむる 東 郷 藤崎 辰子 朝の目が青葉あをばにきらめきてしぐれの雨の上がりゆくなり 八幡西 山田 耕夕 金の成る樹はすくすくと太りたり真夏の朝の露を含み 池田 小田 いせ みどり濃き松林に点々と花かと紛ふ霧の清しむ 吉 留 高山 信子 照り反す歩道歩めばおのずから半眼となり歩調整ふごとくという意見と、ルールに違反しているという意見が相対立した。確かに明徳は規則に犯してはなかったが、ルールの解釈でなく、「野球の心」の問題を提起した敬遠策といえそうである。

# 七夕伝承発祥の地 中津宮七夕祭

## 筑前大島で島民あげてのお祭り



台風十号の接近で祭行が心配された、筑前大島恒例の中津宮七夕祭が、八月七日午後八時より若者男女多数が参列し執り行われた。

中津宮境内を、大島最高峰御嶽山に源を発す「天の川」が流れ、この清流を皆さんで高い丘に、石祠の織女社と牽牛社とが祀られている。

当日織女社下の祭場に、芝垣で囲まれた棚機が設けられ、願いごとを書いた五色の短冊などが飾られた笹竹が立てられた。

夕刻、境内の提灯に火が灯され、目原沖・中岡宮奉賛会長、中村村長を始め村民拳って参列し、盛大に祭行された。

# 海洋神事奉賛会 四者会談 開催

## 秋季大祭に向けて

秋季大祭を前に去る八月二十五日、海上神幸「みあれ祭」齋行に関して、宗像六海協（大島・鐘崎・地島・神湊・津屋崎・福岡）に波津・芦屋・新宮の三海協を

加えた関係者による海洋神事奉賛会の打ち合せ会が、また九月八日には、宗像警察署、宗像保健所、宗像土木事務所、宗像地区消防本部、西鉄赤間営業所、玄海町消防などの諸機関との「打ち合せ会」(四者会談)が、当天社より養父宮司以下関係神職出席のもと、それぞれ開催された。

海洋神事奉賛会打ち合せ会では、本年の中津宮御神

期間中の境内警備、臨時交

あふせにわたす  
かささぎのはし  
と刻まれている。  
博士が七夕信仰の原点を  
感じられて詠まれた歌であ  
る。

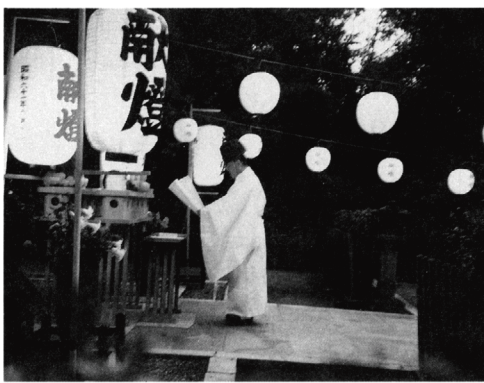


# 宗像護国神社

## 戦没者追悼慰霊祭

日も西に沈みかけた午後七時、齋主・当大社升谷格宜以下四名の神職が参進両側の提灯と灯明の下参進、祭典が始まった。

神前には、海の幸山の幸に加え煙草・缶詰も供えられ、お飯の後、齋主の祝詞奏上へと続く。



去る八月十五日、宗像護国神社では本年も戦没者慰霊祭が厳粛に齋行された。

# 夏の交通安全キャンペーン ハンドルを握る手は慎重に



夏真盛りの八月十一日、宗像郡福岡町太郎丸で行われた交通安全キャンペーンに、当大社からも神職一名と巫女二名が出向し、ドライバーに「安全運転を」と呼びかけた。

このキャンペーンは、うだるような暑さで、つい気もゆるみがちになり、しかもお盆の帰省客で交通量が増加するこの時期に毎年行われている。

宗像警察署、宗像タクシー部会の人々と一緒に、清凉飲料やティッシュペーパー、安全運転啓蒙用チラシと共に、当谷のお守りとステッカーを授け、運転マナーの向上を訴えた。

宗像警察署、宗像タクシー部会の人々と一緒に、清凉飲料やティッシュペーパー、安全運転啓蒙用チラシと共に、当谷のお守りとステッカーを授け、運転マナーの向上を訴えた。

宗像警察署、宗像タクシー部会の人々と一緒に、清凉飲料やティッシュペーパー、安全運転啓蒙用チラシと共に、当谷のお守りとステッカーを授け、運転マナーの向上を訴えた。

# 一誌一話 (18) 東北を旅して 楽杏子

東北地方を訪ねる三四日目の研修旅行は、太平洋側から日本海側へと、往復の横断であった。いまは福岡から奥州の玄圃山台まで一時間四十分ですむ。しかしこの地がまだ蝦夷と呼ばれていた頃は、此の所まで来るのに何か月も要していたであろう。

東北地方を訪ねる三四日目の研修旅行は、太平洋側から日本海側へと、往復の横断であった。いまは福岡から奥州の玄圃山台まで一時間四十分ですむ。しかしこの地がまだ蝦夷と呼ばれていた頃は、此の所まで来るのに何か月も要していたであろう。



宗像大社歌会  
俳句作品集 (三五四)

ひかりヶ丘 南 風生  
蜘蛛の囲いの木の間に光る  
雨上り

藤 沢 井上 玄洋  
福 間 森 清  
大の字に緑陰占める木工か  
な

自由ヶ丘 細川 絹子  
をどりの輪揃ひ浴衣の藍に  
ほふ

田 熊 力丸 一郎  
鯛の青澄みわたる朝の庭

名古屋 小田 喜一  
夕立や戻りて妻に嘘よこし

津屋崎 井浦 良介  
心地よき風吹き渡るみあれ  
祭

日の里 花田いつ枝  
冷そめん暖るリズムのあり  
りにけり

田 熊 安部 ゆき  
そめんに水浮かばせ量爾  
かな

滋 賀 岩瀬 稲児  
孫達も夏休中の整理で努力  
してゐる

若 松 井手 清孝  
馬鈴薯の花や雲湧く浅間山

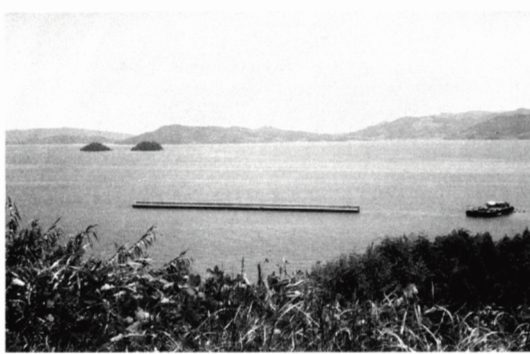


(続)  
浜の寄物

70

元寇の島・鷹島へ(三)

いししいただし



床 浪 の 調 査

さて六月二八日、九州・  
沖繩水中考古学協会が、鷹  
島神崎で調査を行い、私も  
午前中は調査船に乗り、

それに参加したことは六八  
号で書いた。  
午後からは、この海岸の  
漂着状況を調べてみることに  
した。私に出来ることは  
打ち上げられた漂着物しか  
ない。

昼の休憩時間に、水中考  
古学協会の副会長である石  
原渉氏から、午前中に海中  
から採集された数枚の陶磁  
片の説明と、今迄の経過な  
どを聞いた。

鷹島の海岸は砂浜海岸は  
ほとんどなくて、大部分は  
礫石海岸で、礫石の石から  
二〇〇センチの石によつて  
なっている。干潮以外は  
海中につかっている時が多  
く、カキ、イガイ、アコヤ  
ガイ、フジツボが付着して

いて、素足では歩けない。  
しかも陶磁器類も七百年  
以上の長い間、海底や海水  
に漬かっていて、表面は貝  
や藻類が付着し、石と陶磁  
器の区別がつかないようにな  
っている。しかし次第に  
潮が引きはじめて、付着し  
ているのが乾燥してきて、  
石と陶磁片の区別がついて  
くる。

注意して見ると、岩や  
石と石の間に、陶磁片が挟  
まれている。この陶磁片の  
割れ口を見ても、長年間に  
鋭い割れ口は、角がとれ擦  
れられている。  
採集した破片は、鷹島の  
歴史民俗資料館に展示して  
あるもの、それから平成四  
年五月に発行された鷹島海  
底遺跡(長崎県鷹島町教育  
委員会刊)の報告書の出  
づく同形式、同時代のもの  
であった。

採集した陶磁片類は、壺  
碗、皿状のものが多い。  
壺には褐釉壺、四耳付壺  
軸壺がある。四耳付壺軸  
壺は、細長い壺の口縁部、近  
いところに、四個の耳状の  
ものがつき、そこにひもを  
通して下げられるようになって  
いる。穀類や水を入れた  
親が信仰されています。  
このように、古代の日本  
人が考えた他界には独特な  
考え方があり、死者は  
行く世界が地中や海上(海  
底)にあるというのは、死  
者の世界を生者の世界から  
隔離してしまつた考え方で  
す。それに対して山中他界  
であるとする「海の世界観  
です。太陽が昇り、そして  
没する海上の彼方は、古代  
の日本人にとっては、古  
代の古来の考えには、  
死の直後の死者の霊は、個  
性も、死後ももっている  
と思われていました。子孫  
がその霊を祀ることによつ  
て、霊はだんだん個性を失

まつりと生活 (五十)

日本人の他界観

古代の日本人は、人が死  
んだらどこへ行くのか、つ  
まり御魂の行く先について、  
独特の世界観がありました。  
それには三つの考え方があ  
ります。  
一つは、山中他界観です。  
これは、ごく近くの山に祖  
霊がいるとする考えです。  
古代、死者の葬地としての  
埋葬が山中深く定められ、  
そこに死体が遺棄されたこ  
とから発生した他界観です。  
祖霊は時期を定め、正月や  
盆などに、山から里に降り  
てきて家々を訪れ、子孫に  
繁栄をもたらすという考え  
方です。  
二つめは、地中他界観で  
す。つまり、根の国あるいは  
は土の国といわれる「黄泉  
の国」の信仰で、巨大な古  
墳は大王や豪族が死んだ後  
の御魂の行先と考えられて

ものであろうか。碗や皿類  
は青磁や陶製で、青磁は龍  
泉窯系で、表面は無文もあ  
れば、蓮弁は鏝を有した鏝  
蓮弁と呼ばれるものもあつ  
た。これらは什器であろう。  
元軍は食器類、貯蔵水用、  
穀類、酒類等を船に運び入  
れたので、当然それらの大  
部分には陶磁器であった筈で  
ある。  
それに大連征軍であるか  
ら大量に、しかも時間的た  
も迫っていて、急造された  
ことが考えられる。陶磁器  
の専門家によれば、鷹島か  
ら引き上げられる陶磁器は  
かなり粗製乱造品が多いと  
いう。乗組員も上級者から  
水手と、身分に差があり、  
日常仕立にも違いがあつた  
ことは青磁や陶製の差と考  
えらる。  
私は漂着した陶磁片を見  
ながら、「弘安四年閏七月一  
日」の大暴風の直撃を受け  
た元軍の悲劇や、血みどろ  
の戦いの様子の言わぬ  
これら陶磁器はすべて知っ  
ているのだが、そんな事を  
考えると、一片の陶磁片に  
も、歴史の重みを感じるの  
である。  
神崎海岸で不思議なもの  
を見つけた。最初見つけた  
は、磯がとれて浄化されて  
いくというのです。そして  
一定の年月が過ぎると、完全  
に浄化された霊は祖霊とな  
るのです。この点に関して  
柳田国男は、祖霊の山上昇  
神説を展開しています。そ  
れは、死んだ直後の霊は山  
の低いところにいるのです  
が、これが昇華、浄化され  
て祖霊になるにしたがつて  
山の高いところに昇ってい  
くわけですから、高山の上に  
くわつて、霊は少しづつ  
穢や悲しみから超越して、  
清い和やかな神になってい  
くという考え方は、  
古代の日本人は、御魂は  
仏教でいわれる十方億土に  
行くのではなく、我が家、  
我が国土に留まって、祖神  
と共に、生みの子の繁栄を

神郡宗像(八)

田中政喜

第三章 孔大寺神社

孔大寺山は、宗像四家の  
最高峰。圓蓋余、山の頂  
に大穴がある。穴の頂に  
まをよ孔大寺と称し、穴  
については、往時から色々  
の伝説や民俗の説が残つて  
いる。この山の八分上、  
孔大寺権現の社があつて、  
その鎮座は本地垂迹の時代  
宗像代に茅草を神代木樹花  
し、鎮座地に敷形成まであ  
つたが、明確ではない。祭  
神は、宗像皇野の祇王権  
現と同一神で、延喜年中に、  
遠賀郡内海村に祭田三十町  
を寄進し、その祭田は宗像  
大宮司が司る証文があるとい  
うことである。

第四章 宗像大宮司

第六十六代醍醐天皇の世は、  
平安時代で、最もよく国内  
がたまり、大陸にまで開く  
た。大陸にまで開く  
、皇尊の御海国から、天皇  
の太平を祝賀した勅使が  
来朝するようになった。天  
皇の御容姿が不如意で、御  
顔も長く、色黒にして、海  
の国使に對面することを、  
御自身恥ずかしく思われ、  
御弟清茂親王には、御容姿  
御弟清茂親王に、御容姿  
一日の皇位を譲られて、国  
使と對面させられた。よつ  
と申し上げた。その後親王  
は皇族になられたが、醍醐  
天皇は、公卿大臣と御協  
議の末、宗像の神司への任  
官と決定して、筑前守正三  
位中納言に任じ、宗像の姓  
を下賜された。  
延喜十四年(西暦四年)宗像  
大宮司として、宗像の地に  
下向されて、田嶋の里、片  
間伽の水を汲んだというあ  
か谷(今はあか谷といふ)あか  
かという場所もある。

二月一日に祭礼が行なわ  
れ、宗像大社とは非常に縁  
故が深い。かつて山伏修行  
を勤める行人の籠った山と  
しても有名で、五人ににあ  
つて、落葉も取らないとい  
う杉の木などが多い。又舞  
殿、浅敷殿、垂見の畑、千  
正畑などの由緒ある伝説的  
な遺跡も附近に散在してい  
る。  
本寺は「孔大寺御山社」  
といつて伝えられ、宗像の  
三社と織幡、許斐の二社を  
加えた宗像五社に、当社を  
加えて、宗像六社といわれ  
ている。  
宗像の神(御仕立)を  
望ませられるおそれもある  
ことから、筑紫へ下向され  
て、宗像の神(御仕立)を  
たが、最も良策と考えられ  
た。天皇も、これを十分了解  
して、侍臣として正三位に  
叙し、中納言として下向さ  
れることになった。  
何ぞ海使が来朝される  
ようになったか、何しろ  
御仁慈深い天皇であったの  
で、当時異国にまで仄聞さ  
れて、特に渤海王は使者を  
日本に派遣して、「治国平  
天下」の政治を実際に見聞  
し、祝賀して、絵師を同伴  
させた。特に実際にその姿  
を写して下さるのである。使  
者一行は鴻臚館で、さまざま  
の御貢をそなへ、国王か  
らの書翰を捧げたいと願  
いの御禮願を奉じたいと願  
い出たので、天皇も御自身の  
容姿の思わしくないのを対  
面して考えられるので、日本  
の恥辱と考へられて、御弟  
の清茂親王を渤海使に目見  
えさせられた。使者らは九  
拝頓首して御容姿を絵書き  
して自国に持ち帰つたとい  
われている。